

配置図作成時の留意事項

1 造成（切土又は盛土）がある場合

- ・ 建築計画概要書（第三面）の配置図（以下、「配置図」という。）に造成部分の明示（該当部分にハッチングをする等）。

- ・ 当該造成部分の面積

- ・ 当該造成部分の現況地盤高、計画地盤高及び隣地の地盤高

※1 それぞれの地点で現況地盤高及び計画地盤高を対比でき

るように配置図上に明示すること。また、隣地の地盤高も明

示すること。現況と計画がわかるように凡例を記載すること。

※2 傾斜地等の場合、配置図のみでは判断が困難なため、隣

地を含んだ断面図を作成し、造成内容がわかるようにするこ

と。

2 造成がない場合

「造成なし」「切盛土なし」又は「現況 GL＝設計 GL」等敷地内にて造成工事がない旨わかる文言を配置図余白に記載すること。なお、造成が無い場合でも、現況及び計画地盤高を明記すること。

※「開発行為に係る造成なし」「宅地造成等規制法に係る造成な

し」等の文言は不可